

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2023年12月
結果公表日：2024年3月27日

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 25名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・職員体制について、送迎は法人内で調整を行ない、滞りなく実施できるよう工夫をしている。支援について、毎日事前に打ち合わせをして、職員の配置や利用者対応について考え、密にコミュニケーションを支援対応を行なっている。
- ・環境面について、遊びや学習等をする場所を明確にすることにより、子どもたちも落ち着いて過ごす環境が作れている。教室のルールを明確にすることで安全面に配慮できるように努めている。

○業務改善

- ・ガイドライン自己評価の結果を分析し、次年度の改善計画を立てている。次年度の目標を教室内で共有し、ニュースレター等でその内容を公開している。
- ・第三者による外部評価は受けられていないが、教室内での業務前ミーティングにて前日の支援や利用者の様子について共有し、細かく情報共有する時間を設けることで業務改善につなげている。

○適切な支援の提供

- ・職員全員で業務前ミーティングを行うことにより、各職員からの意見と取り入れた支援を立案し、翌日に振り返りを行うことで、日々適切な支援が行なえるよう努めている。
- ・新しく得た情報に関しては、書面やミーティングを活用し、すぐに職員全員が情報を知れるように工夫し、職員全員が同じ情報を持てるようにしている。
- ・支援終了後には、各自振り返りを行い、気が付いた点があるときは当日中に共有している。全体に共有が難しい時には、改めてケース会議を行い、意見交換を頻繁に行うようにしている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校と連携し、送迎時に児童の最近の様子を聞くことで、事業所以外での児童の様子を掴めるように努めている。学校以外の関係機関との連携は行えていないため、今後連携の方法を模索していきたい。
- ・主に送迎時に家庭との連携の時間を設けている。必要に応じて事業所内で改めて相談する時間を設ける等、保護者と密に連携が行えるようにしている。

○保護者への説明責任等

- ・書面や口頭などで情報の共有を行っており、個人情報についても留意して取り組んでいる。
- ・保護者会や療育参観は、今年度は、土曜日や長期休みに実行していく。

○非常時等の対応

- ・てんかん・アレルギー・服薬状況など1年に1度利用者の状況を確認し、教室内で共有することで児童の安全に留意している。事故防止・感染症対策などそれぞれにマニュアルを策定し、それをもとに職員が研修を行う事で、非常時に対応ができるように努めている。

○環境・体制整備

- ・体制について、約半数の保護者から、「どちらともいえない」「わからない」とのご意見をいただいた。「同性介助についても、男性職員が複数人いると安心する」という意見をいただいた。法令上の人員基準は満たしているので、保護者の方に職員の体制が分かりやすいように周知方法を工夫していく。
- ・環境について、8割以上の方から児童の活動に合わせた空間になっていると回答いただいた。一方で、「教室の様子がイメージしにくい」という意見もいただいたので、保護者が教室を見れる機会を増やして、教室の様子がイメージしやすいようにしていきたい。

○適切な支援の提供

- ・放課後デイサービス計画作成に対し、「面談を通して計画して頂いている」「支援をありがとうございます」と9割以上から高評価をいただいた。活動については、「外活動が難しいかもしれませんが、部屋活動だけではない活動や、家族が参加できるイベント、調理など取り入れて行ってほしい。」との意見も頂いた為、家族イベントや療育参観を企画し、ブログ等で支援の様子を知っていただく機会を増やしていきたい。

○保護者への説明等

- ・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解できているかという設問に対して、約8割の保護者から満足していると回答いただいた。今後も保護者との連携方法について工夫し、連携を密にとれるように対応していきたい。

○非常時等の対応

- ・緊急時の対応については、7割以上の保護者から周知されているとの回答をいただいた。一方で「わからない」「未記入」との回答もあったので、改めて文面や口頭で周知・説明を行い、すべての保護者に非常時の対応についてご理解いただけるよう対応を進めていきたい。

○満足度

- ・「季節のイベントは楽しみにしている」「個別も集団も1日に取り組んでもらえて有難い」と8割以上のご家庭から事業所の支援に満足していると回答いただいた。「児童同士のやりとりや職員の介入方法について知りたい」とのご意見もいただいたため、支援中の様子を知っていただける企画を準備し、教室様子を知らせてもらえるように工夫していきたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・家庭連携や事業所内相談支援を含めた保護者との関係作りをさらに促進するため、保護者様のニーズにあった形での提案を行う。
- ・保護者会や療育参観に実際に活動を保護者の方に知っていただける機会を作る。
- ・相談支援カレンダーやメール、サービス提供記録を活用しお互いが同じ情報を文面で確認できる体制を作る。
- ・保護者会で避難訓練の様子や緊急時の対応についてご説明する時間を設けたり、ブログ等で災害時の対応について日頃児童とどのように訓練を行っているのかの発信をする。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・送迎時や個別支援計画の面談等で情報共有を行っているが、自主入退室のご家庭との情報共有の機会が少ない傾向にあった。自己入退室の保護者へは、電話でのフィードバックやメールでのやりとりをする等、ご家庭の状況に応じた対応方法を検討していきたい。
- ・保護者会や療育参観について、今年度中に2回開催することができた。
- ・保護者からの質問にはサービス提供記録やメールなど文面で残る形で、やり取りを行なうことができた。一度やり取りをしても、事業所と保護者で認識がずれることもあったので、変更点がある場合は前日に対応について確認する等、小まめに意思疎通ができるようにしていきたい。
- ・日頃の避難訓練の様子や緊急時の対応について、ブログ等でお伝えする機会がなかったため、来年度中に発信する機会を設けていきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・個別課題や小集団療育、集団療育を一日の在室時間の中で計画を立てて取り組んでいる。
- ・季節のイベントなど子どもたちが楽しめるような企画を頻繁に行っている。保護者や児童から希望のあった活動を取り入れた企画を実施出来ている。
- ・日々のフィードバックや面談で保護者からいただいたご相談に対して適切にアドバイスが出来ている。

○改善点

- ・活動の紹介では、月間の予定表でお知らせしていたが、実際にどのような雰囲気で行っているか、直接お見せする保護者会や療育参観の実施が少ない。
- ・前年度から保護者とのやりとりはサービス提供記録やメールなど記録に残る形で対応してきたが、早い段階でのやり取りが多く、対応日までに期間が空いてしまい、結果的に行き違いが起きてしまうということがあった。対応日直近での確認連絡など、今後も連携の方法について改善が必要である。
- ・緊急時対応など、周知が十分に行き届いていない状態であったため、周知方法について完全が必要である。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会や療育参観を年間で計画実施していく。ニュースレターやブログ、HPに教室の様子を掲載していく。
- ・サービス提供記録やメールで記録に残るやり取りを行い、対応日直前には双方の対応について再確認を行なう。
- ・緊急時対応や各種マニュアルについて、保護者に周知し理解していただく。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会や療育参観を前期後期各1回実施し、実際に教室を見ていただける機会を増やす。
- ・月に1回以上、教室のブログを更新し、教室の様子が分かるようにしていく。
- ・保護者との対応について記録に残し、直前で対応の確認ができていくチェックする体制を作る。
- ・緊急時対応や各種マニュアルについて、保護者会や面談時に直接お伝え、教室内に掲示したりして、保護者や利用者への周知を行なっていく。